

東インド会社と アジアの海賊



東洋文庫ミュージアム

2012年3月7日～6月24日

〒113-0021 東京都文京区本駒込2-28-21

TEL:03-3942-0280

入館料 880円(一般) 680円(大学生) 580円(中・高校生) 280円(小学生)

アクセス 駒込駅(JR, 東京メトロ南北線) 徒歩8分

千石駅(都営地下鉄三田線) 徒歩7分

開館時間 10:00～20:00 ※入館は閉館の30分前まで

休館日 毎週火曜日(但し、火曜日が祝日の場合は次の平日)

Toyo Bunko Museum

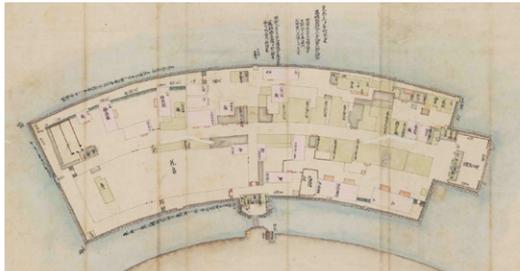
激突!! 東インド会社 vs アジアの海賊

今から400年前、東インド会社はイギリス・オランダ・フランスなどの北西ヨーロッパで誕生しました。歴史の教科書をつづじて、その名こそ知られていますが、活動の詳細はあまり明らかではありません。世界初の本格的な株式会社として対アジア貿易の独占を目指しましたが、海上覇権の確立にあたって大きな障壁となったのが現地の海賊たちでした。双方の衝突(ときに協調)はアジアの豊かさをめぐるせめぎ合いの結果とみなされます。

ヒト・モノ・情報が飛びかう今日、アジアとヨーロッパはかつてない規模でつながりを強めています。近代が幕を開けたその時、二つの文明世界はいかに出会い、いかなる関係を切り結んだのでしょうか。東洋文庫ミュージアムはこの春、皆さまを歴史のロマンにあふれる大海原へと水先案内いたします。Bon Voyage (よき船旅を)!



①



②



③



④



⑤



⑥



⑦



⑧

① ブラウ『アジア図』 1635年 ② 『肥前長崎明細図(出島図)』 1772～89年頃
 ③ モンタヌス『日本誌』より「鹿兒島図」 1680年頃 ④ モンタヌス『日本誌』より「日本の貴婦人」 1680年 ⑤ 葛飾北斎『画本東都遊』 1802年 ⑥ ギルレイ『マカートニーを謁見する乾隆帝』 1792年 ⑦ 『海賊船の撃沈』 1849年 ⑧ 『中国沿海図』 1787～1800年頃
 *この他…シーボルトの著作、アダム・スミス『国富論』(初版)、重文『ジョン・セーリスの航海日記』など貴重書を多数公開いたします。
 *『ジョン・セーリスの航海日記』の展示期間は5月2日～6月24日です。

「東インド会社とアジアの海賊展」 開催記念シンポジウム

東洋文庫・日仏会館・日仏東洋学会・フランス国立極東学院共催

日時 2012年4月14日(土)10時～17時(予定)
場所 日仏会館 (恵比寿駅東口徒歩10分 TEL.03-5424-1141)
講演予定者 濱下武志 (東洋文庫研究部長)
 羽田 正 (東京大学教授)
 弘末雅士 (立教大学教授)
 松方冬子 (東京大学准教授) ほか

※ 事前のお申し込みは必要ありませんが(入場無料)、消防法の規定により、満席の際は入場をお断りすることがございます。あらかじめご了承ください。
 ※ 上記のほか、会期中に関連の講演会を東洋文庫にて開催いたします。詳細はホームページ、お電話等にてお問い合わせください。

国宝・浮世絵の展示予定(3月7日～6月24日)

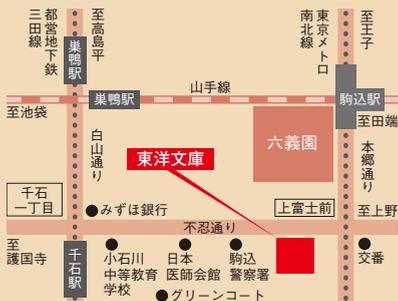
◆ 国宝
 I期 『文選集注』巻五十九の二 平安中期書写(3月7日～4月2日)
 II期 『文選集注』巻六十八 平安中期書写(4月4日～4月30日)
 III期 『毛詩』初唐(7-8世紀)写 (5月2日～6月4日)
 IV期 『春秋経伝集解』平安後期書写(6月6日～6月24日)

◆ 浮世絵 ～喜多川歌麿と桜～
 I期 『御殿山の花見駕籠』
 II期 『咲分け言葉の花 おしゃべり、にくまれ盛り』
 III期 『錦織歌麿形新模様 うちかけ』
 IV期 『高島おひさ』

※ 国宝と浮世絵は同一の周期で展示替えを行います。



「高島おひさ」



交通案内
 駒込駅(JR山手線南口、東京メトロ南北線2番出口) 徒歩8分 / 千石駅(都営地下鉄三田線A4番出口) 徒歩7分 / 巣鴨駅 徒歩15分
東洋文庫
 〒113-0021 東京都文京区本駒込2-28-21
 TEL : 03-3942-0280
 http://www.toyo-bunko.or.jp

あわせてご利用ください
 ミュージアムショップ
 『マルコ・ポーロ』
 (10:00～20:00)
 レストラン
 『オリент・カフェ』
 (11:30～21:30)

こちらのチラシ持参で
 4名様まで(入館料が
 100円割引になります)
 (2012年12月未まで有効)